

平成28年度第4回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成29年1月17日（火） 午後4時45分～午後5時15分
開催場所	滝川市役所5階 庁議室
出席状況	【委員】 出席：石川委員長、山田副委員長、栗井委員、越後委員、貝之瀬委員、浜田委員、高橋委員、本多委員、水戸委員 欠席：藤本委員 【事務局】 市民生活部 館部長、石川次長 くらし支援課 横山課長、大橋係長、山本主任主事
議事内容	1 開会 2 委員長、副委員長から市長へ提言書の提出 3 委員長及び副委員長並びに各委員からの意見及び感想は以下のとおり 委員長)：「エコ部！」の活動が特に素晴らしい。大人の協力はもちろんある程度必要だが、子供を育てることで持続可能な活動になり、滝川市の環境がより良いものになっていくと思う。 副委員長)：委員長を補佐し、委員をまとめることができたと思う。 委員)：今年度より委員になり環境市民対大会に初めて出席させてもらったが、高校生の活動がとても素晴らしいと感じた、滝川の将来を担う子供たちが環境に関心を持つことが大切。 委員)：野鳥の会の代表として委員会に参加させてもらった。市民のごみ出しは完璧ではないが、以前と比べてルールを守らない人が減ってきている。ルールを守らないのはカラスに餌を与えているのと同じ。引き続き市民に意識向上を訴える必要がある。 委員)：2年間委員として参加させてもらい、くらし支援課職員の皆さんの熱い思い、一生懸命さを身をもって感じた。機会があれば、また一緒に仕事をさせてもらいたい。 委員)：地球温暖化に関心を持ち、自分なりに学習している。子供たちがイベントにたくさん参加しているのが素晴らしいと思った。これからも関心を持って行きたいと思う。 委員)：第2次滝川市環境基本計画の策定に参加できたのが良い経験となった。「エコ部！」の活動は、EPO北海道（北海道環境財団）が力を入れているESD（持続可能な開発のための教育）にも関連している。今後もたしかかわエコネットなどと広く連携して情報発信などを行ってほしい。EPO北海道としても協力していく。 委員)：いろいろな立場から意見があり、事務局もまとめるのが大変だったと思うが、今後も企業や自治体が一体となって協力して活動を行ってほしい。

委員)：ごみの減量化はもちろんだが、分別後のごみがどうなっているかを発信してほしい。消費者協会としてもそこが一番興味・関心を持っているところ。

4 市長から委員へ2年間のお礼と今後の滝川市の取組についての説明

市長)：2年間、委員の皆さんには大変お世話になった。また、第2次環境基本計画・地域行動計画の策定に尽力いただき、感謝申し上げます。

今後、滝川市としては以下に取り組んで行きたいと考えている。

- ① 平成28年度から始まった「第2次滝川市環境基本計画・地域行動計画」の目標達成に向け、計画の柱となる「エコライフたきかわ(=エコたき)」の普及活動を関係機関と連携しながら行っていく。
- ② ごみの分別の周知及び回収後のごみの行き先などについて、わかりやすいチラシを作成・公開することで、市民が積極的にリサイクル等に取り組む環境づくりを行う。

5 閉会